ITソリューション塾・事前課題／第2回

ソフトウェア化するインフラとクラウド

「SDI：ITインフラの全ての資源をソフトウエアの設定だけで調達、変更できる技術基盤」がITインフラの常識を変えようとしています。クラウドとの関係を踏まえながら、その意義と仕組みを学びます。

それでは、次の質問に回答して下さい。

1. 2018年6月7日、政府は「政府情報システムにおけるクラウドサービスの利用に係る基本方針」を決定し、政府情報システムは「クラウド・バイ・デフォルト原則（バイ・デフォルト[by default]とは「既定では」という意味）」とし、クラウド・サービスの利用を第一候補として検討を行うものとしました。既に民間企業の基幹業務システム、さらには銀行のシステムまでもがクラウド・サービスを利用すべく、取り組みを進めています。なぜいまこのような動き始まり、すすめられているのでしょうか。その理由を説明して下さい。
2. 「クラウドとは仮想化をサービスとして提供する仕組みである。」。間違えではありませんが、それはクラウドの一部を説明しているに過ぎません。むしろいまクラウドは、コンテナやサーバーレスと紐付けされて語られることが多くなりました。なぜ、コンテナやサーバーレスなのでしょうか。それは、IT利用の在り方をどのように変えるのでしょうか。仮想化との違いを含めて、その理由を説明して下さい。
3. 「クラウドはセキュリティが心配だから使えない」いまだ、このようなことを言う人たちがいます。しかし、もしそうであるのならば、政府や銀行がクラウドを積極的に使おうとするわけはありません。このような人たちの懸念を払拭するための「わかりやすい説明」を文章にまとめて下さい。

以上